

## 公立病院・自治体に支援を

—国総システム更改の財政措置を含む  
11項目を決議—

### 国保制度改善強化全国大会

11月19日 有楽町朝日ホール



#### 主催者挨拶



国民健康保険中央会会長  
(高知県高知市長)

岡崎 誠也 氏

また、「我々国保関係者は保険者機能を発揮し、引き続き全力で事業運営に努力していく所存だが、国保制度を持続可能なものとしていくためには、国も重要な責任をしっかりと

加など事業運営は今後も厳しい状況が続くことが見込まれる」と述べた。

主催者挨拶に立った岡崎会長は、「国保加入者の年齢構成が高いことで医療費の水準が高いことなど構造的な問題により、運営は極めて厳しいものとなっている。国の財政支援の拡充によって国保財政の基盤強化を図り、関係者の尽力と被保険者の理解で順調に運営されているが、医療費や低所得者の増加による国保の構造的な問題は続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、保険料減免の増加など事業運営は今後も厳しい状況が続くことが見込まれる」と述べた。

#### 財政基盤を強化し、財政支援の拡充を

国保中央会など国保関係9団体は11月19日、千代田区の有楽町朝日ホールで標記大会を開催した。新型コロナウイルス感染症の感染予防措置を取り人数を絞ったうえで実施し、全国から自治体の首長、都道府県関係者の他、与野党の国会議員が参集した。大会では、国保の基盤強化に向けた財政支援の充実など新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況下にある国保運営と医療提供体制に対する支援、国保総合システム次期更改や運用への財政措置など11項目の決議を満場一致で採択した。大会終了後には、決議の実現に向け、政党や政府関係者に対して陳情活動を展開した。

果たしていただきたい」と強調した。

具体的には、「毎年3400億円の公費投入を確実に実施し、保険者努力支援制度が有効に活用されるよう財政支援の拡充を講じることや、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、医療・保健・介護の人材及び公立病院等の医療提供体制を確保できるように、地方自治体及び国保連合会に十分な支援措置を講じることなど、国に対しその実現を強く求めていく」とし、参集した国保関係者へ賛同を求めた。

#### 国保総合システムの次期更改の財政措置を要請

採択した11項目の決議には、「医療保険制度一本化の早期実現」「公費投入の確実な実施」「国民健康保険組合の健全な運営を確保すること」の他、新たに「国保総合システムの次期更改や運用に当たっての財政措置」などが盛り込まれた。

なお、大会終了後には、全国の市町村長らが政党や政府関係者に陳情活動を展開した。

#### 決議

- 一、医療保険制度の一本化を早期に実現すること
- 一、国保の財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施するとともに、保険者努力支援制度等が有効に活用されるよう、適切な評価と財政支援の充実を図ること
- 一、普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能は、今後も堅持し、見直しを行わないこと
- 一、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、国保制度の運営の安定を図るとともに、医療・保健・介護の人材及び公立病院等の医療提供体制を確保するため、地方自治体及び国保連合会に対して十分な支援措置を講じること
- 一、後期高齢者の2割負担の導入に当たっては、制度改革の目的や内容について丁寧な周知を行うこと
- 一、子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担減額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料(税)の軽減制度の拡充を行うこと
- 一、生活保護受給者の国保等への加入の議論については、見直しを行わず国としての責任を果たすこと
- 一、国保総合システムの次期更改や運用に当たっては、市町村等保険者に追加的な財政負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を講じること
- 一、国民の健康保持・増進に向けて、KDBシステムの更なる活用を図られるよう、システム更改等に係る財政措置を講じること
- 一、オンライン資格確認等システムの運用やデータヘルス改革の推進に当たっては、国の責任において財政支援をはじめ必要な措置を講じること
- 一、国民健康保険組合の健全な運営を確保すること